

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		上野 正実		所 属		農学部 地域農業工学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	(1)学部科目(農業生産システム論、バイオマス工学、農業エネルギー工学、圃場機械学等)を担当する。基本的な考え方と最新の話題等を盛り込み内容の充実に努める。(2)大学院担当科目(生産システム工学)では基礎的内容を正確に理解させる。				0.30	(1)学部科目(農業生産システム論、バイオマス工学、農業エネルギー工学、圃場機械学等)を担当し、いずれにも最新の話題等を盛り込んで内容の充実に努めた。(2)大学院担当科目(生産システム工学)では基本を正確に理解させるために、受講者の関心の高い項目を研究に使いこなせるように配慮した。大学院生には論文指導を集中的に行った。				
研究	0.30	(1)研究論文3報以上の投稿を目指す。(2)ICT農業および植物工場など先進研究を推進する。(3)受託研究を中心にバイオマスなどを利用した低炭素社会構築に関する研究を実施する。(4)成長モデルなど新しい研究領域の開拓に努める。(5)国際共同研究(ボツワナ他)を行う。				0.30	(1)研究論文6報以上の投稿を行った。(2)ICT農業および植物工場など先進研究を沖縄県の一括交付金事業などで推進した。(3)受託研究を中心にバイオ炭などを利用や再生可能水素によるエネルギーシステムの研究を実施した。(4)ヤトロファや野菜などの成長モデルの開発を行った。(5)国際共同研究(ボツワナ他)を行い、新BDF製造法を開発中である。(6)バイオエネルギーに関してブラジル(JST)とタイ(FAO)で活動を行った。				
社会貢献	0.20	(1)バイオマス利用・温暖化対策, 農業振興・環境保全に関する普及・調査活動による市町村等の支援。(2)サトウキビ品質取引業務等の支援。(3)JICAの集団研修「熱帯地域における持続可能なバイオマス・バイオ燃料利用」を実施。(4)国際的な研究支援活動の推進(ボツワナ, タイ, 中国等)。				0.30	(1)読谷村, 伊江村, 中城村, 嘉手納町, 西原町等でバイオマス利用・温暖化対策, 農業振興・環境保全に関する普及・調査活動の実施。(2)サトウキビ品質取引業務等の支援。(3)JICAの集団研修「熱帯地域における持続可能なバイオマス・バイオ燃料利用」を実施。(4)国際的な研究支援活動の推進。(5)農業改良普及事業等への協力。(6)沖縄県の農業研究・農業機械化推進等への支援・協力。(7)農業食料工学会大会の実施。				
管理運営	0.10	代議員, 教育委員・FD委員など学部運営等に関する役割を果たす。				0.08	代議員, 教育委員・FD委員など学部運営等に関する役割を果たした。				
進路指導	0.10	学部学生および大学院生の進路相談に日常的に乗り、様々な情報提供・紹介を行う。また、年次指導教員として懇談会等で指導を行う。				0.02	日頃より、学部学生および大学院生の進路相談に乗り、様々な情報提供・紹介を行った。また、年次指導教員として懇談会等で指導を行った。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		弘中 和憲	所 属		地域農業工学科
職 名				教授	
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・学部4年生7人, 大学院1年生2人, 合計7名の指導する。・学部授業(「生物生産システム設計学」, 「卒業論文Ⅰ」, 「ポストハーベストテクノロジー」, 「生物材料工学」, 「バイオシステム工学実験Ⅱ」, 「卒業論文Ⅱ」, 大学院授業(「農産施設工学特論」, 「食品工学特論」)を行う。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・学部4年生7人, 大学院1年生2人, 合計7名の研究指導を行い, 院生2名については, 農業食料工学会73回大会にて, 口頭発表させた。・学部授業(「生物生産システム設計学」, 「卒業論文Ⅰ」, 「ポストハーベストテクノロジー」, 「生物材料工学」, 「バイオシステム工学実験Ⅱ」, 「卒業論文Ⅱ」, 大学院授業(「農産施設工学特論」, 「食品工学特論」)を行った。
研究	0.70	<ul style="list-style-type: none"> ・国際学会誌(1誌)の海外レフリーとして, 任務を遂行する。 ・日本食品保蔵学会の評議員として, 任務を遂行する。 ・農業施設学会理事として, 任務を遂行する。 ・南方資源利用技術研究会理事として, 任務を遂行する。 ・国内学会3件の口頭発表を行う。 ・農業食料工学会73回大会の副大会委員長として, 任務を遂行する。 		0.70	<ul style="list-style-type: none"> ・International Journal of AgriScienceのEditorial Boardとして, 任務を遂行した。・日本食品保蔵学会の評議員として, 任務を遂行した。・農業施設学会理事として, 任務を遂行した。・農業施設学会学会賞審査委員として, 任務を遂行した。・南方資源利用技術研究会の理事として, 任務を遂行した。・国内学会(農業機械学会本部大会(沖縄), 同九州支部大会(福岡), 食品保蔵科学会(長野))3件で口頭発表を行った。・農業食料工学会73回大会の副大会委員長として, 任務を遂行した。
社会貢献	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度沖縄ものづくりネットワーク構築事業の審査委員として, 任務を遂行する。 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度沖縄ものづくりネットワーク構築事業の審査委員として, 任務を遂行した。
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・全学国際交流委員を務める。 ・地域農業工学学科長を務める。 ・3年生指導委員を務める。 ・評議員を務める。 ・大学院入試出題委員長を務める。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・全学国際交流委員を務め, 任務を遂行した。・地域農業工学学科長を務め, 任務を遂行した。・3年生指導委員を務め, 任務を遂行した。・評議員を務め, 任務を遂行した。・大学院入試出題委員長を務め, 任務を遂行した。
進路指導	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・4年次学生の就職支援(企業紹介)を行う。 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・4年次学生の就職支援(企業紹介)を行った。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		鹿内 健志	所 属		農学部	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.30	学部担当科目(農業情報工学, 農業電気電子工学概論等), 大学院講義(農学研究の方法)を担当し, 学習支援システムWebclassを活用し, 予習・復習を効果的に進める授業を実施する。 4年次指導教員として修学指導・相談を行う。		0.30	Webclassを効果的に活用し, 学部担当科目(農業情報工学, 農業電気電子工学概論等), 大学院講義(農学研究の方法)を担当した。教職科目(「農業科教育法Ⅰ」, 「教職実践演習」)については県内高等学校と協力し実施することができた。4年次指導教員として卒論・進路等の指導や学習相談に対応した。			
研究	0.30	科学研究費による共同研究を継続し進める。成果を学会・論文等で発表する。 食料農業工学会年次大会を琉球大学で開催する際の実行委員を務める。		0.30	科学研究費による集落営農・生産法人支援のための作業改善システムの開発の研究成果について研究を進め, OR学会研究部会などで報告した。食糧農業工学会沖縄大会の開催事務局を担当した。			
社会貢献	0.10	公開講座を実施する。 琉球大学生協理事として学内の福利厚生改善に努める。 沖縄県の委員会の委員を務める。		0.10	公開講座(エクセルによる数学シミュレーション)を8月に実施した。琉球大学生協理事として学内の福利厚生改善に努め, 「ビジョンとアクションプラン」を決定した。			
管理運営	0.10	農学部の安全衛生委員, 広報委員等として委員会活動等に積極的に参加する。 亜熱帯フィールド科学教育センター農林教育情報部門長として, 亜熱帯フィールド科学教育センターの農林教育情報に関する運営を推進する。		0.10	農学部の安全衛生委員, 広報委員, 教育委員等として委員会活動を行った。			
進路指導	0.20	4年次指導教員として就職・進学活動の適切なサポートを行う。		0.20	4年次指導教員として, 年次懇談会等を通して就職・進学活動のサポートを行った。大学院講義「農学研究の方法」の中でキャリア教育を行った。			
	0.00			0.00				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		平良 英三	所 属		農学部	職 名		助教
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.30	学部担当科目で情報科学演習, バイオシステム工学実験 I, 外国語文献購読等を担当する。学生の理解度に合わせた解説を行い、基礎知識・技術の習得ができるように努める。学部学生, 修士学生が卒業研究で必要な実験や学習の補助を行う。		0.30	担当科目「情報科学演習」, 「バイオシステム工学実験 I」, 「外国語文献購読」を担当し, シラバスに沿って授業を行った。講義時間外, オフィスアワー以外の時間でも質問を受け付け, 学生の基礎知識の習得ができるよう努めた。また, 卒業研究や修士学生の指導補助を行った。			
研究	0.40	これまでの研究成果について、国内外で研究発表を行う。また、海外研究者との交流をはかり、質の高い研究の推進に努める。研究成果を論文等にまとめ、成果の公開と研究発展に努める。		0.40	近赤外分光法を主とする計測技術の研究を行った。これまでの成果をとりまとめ、1編の研究論文が受理された。また、近赤外分光法に関する講習会にて講師を務めるなど、研究分野の発展に努めるとともに海外研究者との交流を図った。			
社会貢献	0.10	県内企業、試験研究機関等と連携し、共同研究を積極的に行う。特にサトウキビの価格取引に関して、沖縄県と鹿児島県の製糖関係者と連携し、品質評価システムを運用する。また、沖縄県や農業団体と協力し、沖縄産果樹のブランド化に関する研究を推進し、産地強化のための情報を提供する。		0.10	沖縄県やJA等と連携して沖縄産果実の高品質化に向けた事業を実施し、光センサーを用いた品質保証技術に関する研究を行った。また、製糖工場で実施されるサトウキビ品質評価システムの維持業務を行うとともに、その管理・運用に関する情報提供を行った。			
管理運営	0.10	部局内の委員会活動をはじめ、管理運営活動に積極的に参加する。		0.10	入試委員や情報システム技術専門委員などの委員会活動を行うとともに、学部の管理運営に関する活動に積極的に協力するよう努めた。			
進路指導	0.10	学生の進路指導に努める。また、3, 4年次には求人情報を提供するなど就職活動の支援を行う。		0.10	就職を希望する学生には新入社員の採用を予定している県内外の企業を学生に紹介した。進学を希望する学生には大学院入学試験について説明し、その対策についてもアドバイスを行った。			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		瀬戸内 秀規	所 属	農学部 地域農業工学科	職 名	准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	学部担当科目として、材料・コンクリート工学、応用力学、工学の力学、造構学総合演習、卒業論文をJABEEの教育目標に沿った水準、内容で提供する。修士課程においては、地盤工学特論、土質改善学特論、生産基盤工学特別研究Ⅰ、Ⅱ及びⅢを担当する。		0.30	定期的な中間試験の実施ならびに添削により受講生の学習達成度を確認するとともに、JABEE目標の水準の授業を展開した。また、配布資料の充実および証拠資料の作成などに努めた。		
研究	0.30	自然災害による地形の被災状況を巨視的に予測し得る力学地形モデルの構築のための基礎研究を展開する。科学研究費補助金等の外部資金の獲得に向けて取り組む。		0.30	砂粒子破碎をも考慮できる土の応力-ひずみ関係構成則を開発した。これまで地盤材料の応力ひずみ関係を記述する構成則は存在しなかったため、この成果は地盤設計ならびに地盤の数値解析技術の進展に大きく寄与することが期待できる。		
社会貢献	0.10	研究成果の学会誌への投稿1編および学会発表1編を進めることにより社会貢献に努める。オープンキャンパスに向けた研究室の紹介等の準備および対応に取り組む。		0.10	学術雑誌に、2編の論文を投稿することで研究内容及び成果を社会に公表した。大学オープンキャンパス、卒業論文ポスターセッションに関する準備公開を行った。平成26年度土木学会「論文奨励賞」候補論文の審査を行った。		
管理運営	0.25	教授会、学会会議などの各種委員会に参加し本学部の管理運営に努める。		0.25	教授会議、学科会議に参加して大学運営に携わった。また、センター試験等の試験監督業務を行った。		
進路指導	0.05	卒業論文受講生の指導教員として、学生の生活状況確認および卒業生の就職の斡旋を行う。		0.05	本学科4年次学生の教育及び進路指導を行った。また、4年次卒業生の就職活動の斡旋や卒業論文および生活状況等について指導した。		
	0.00			0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		仲村渠 将	所 属		農学部 地域農業工学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.50	(1)農学部教育目標1を達成するため、水理学・水利環境学特論において流れの力学現象をわかりやすく解説する工夫をする。 (2)農学部教育目標2と3を達成するため、地域環境実験・卒業論文における学生の取り組みが自主的・自発的なものになるように工夫する。			0.50	(1)水理学の授業計画の最終回でelearningを試行した。事前に視聴覚教材を提供しておくことにより、学生の事前学習に寄与した。講義の中での解説を省けたため、時間的に効率的な講義の展開となった。次年度では、elearningの利用回数を拡大したい。水利環境学特論は受講生なしのため開講されなかった。 (2)地域環境実験ではグループワークを徹底させた。卒業論文では、学生が自ら深く考え抜くよう、1から10までのすべてを一度に教えることをしない姿勢を貫いた。		
研究	0.30	(1)赤土等流出防止に関する水路実験を継続する。新たな計測手法を導入し、データの質を高める。 (2)赤土等流出防止に関する土壌物理性改良実験を予備調査段階から実施段階へ展開する。本実験は、農水省補助事業に共同研究として取り組むものであり、外部資金の獲得に貢献できる。 (3)農業農村工学会応用水理研究部会代表幹事の任務を果たす。			0.10	(1)流れの微流速を計測する流速計を製作できた。 (2)現地試験ほ場を完成させ、土壌侵食対策試験を実施できた。これからサンプルを試験し、3月中には今年度の成果をまとめることができる。次年度も計画が実行される予定であり、引き続き外部資金を獲得できる。 (3)役員会での各種議題に取り組んだ。		
社会貢献	0.10	(1)産官が行う赤土等流出防止に関する取り組みを、赤土等流出研究の専門家として学外委員会活動などとおして支援する。 (2)農業農村工学会九州沖縄支部事務局長の任務を果たす。			0.30	(1)学外委員会が開催されていないため支援を実施していない。 (2)平成26年度九州沖縄支部大会の準備に3ヶ月間を費やし、当日の大会運営を滞りなく完了させた。また、関連諸会議を進行した。一方、この活動は教育・研究活動を圧迫しており、加重負担である。		
管理運営	0.09	(1)予算委員会、入試委員会、広報委員会および地域貢献支援委員会の委員会活動と亜熱帯フィールド科学教育研究センターの兼務教員活動をととして、琉球大学の運営が円滑になるように貢献する。 (2)JABEEの審査をクリアする。			0.10	(1)予算委員長を務め、委員会を進行し、今年度予算を決定した。入試委員会の各種議題に取り組んだ。広報委員会ではオープンキャンパスの運営を中心に活動した。地域貢献支援委員会は開催されていない。亜熱帯フィールド科学教育研究センターの各種議題に取り組んだ。(2)JABEEの審査をクリアした。(3)その他、2年次のコース分属を取り仕切った。八重山会場でセンター試験監督を務めた。農学研究科外国語試験問題作成委員会が試験問題案を作成した。農学研究科入学試験の監督をする。		
進路指導	0.01	就職や進学に関する相談に応じる。			0.00	相談依頼がなかったため、応じることはなかった。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		中村 真也		所 属		農学部地域農業工学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	土地環境保全学、土の物理学、環境地質学、地域環境演習Ⅱ(分担)、工学の力学(分担)、地域環境実験Ⅰ・Ⅱ(分担)、情報科学演習等を担当し、シラバスに沿った展開を心がけ、JABEEの基準を満たす講義を行う。地域資源環境工学特別講義(博士課程)の一部および農村環境保全・防災学特論(修士課程)を担当する。				0.30	土地環境保全学、土の物理学、環境地質学、地域環境演習Ⅱ(分担)、工学の力学(分担)、地域環境実験Ⅰ・Ⅱ(分担)、情報科学演習等を担当し、シラバスに沿って講義を行った。地域資源環境工学特別講義(博士課程)の一部および農村環境保全・防災学特論(修士課程)を担当した。				
研究	0.30	研究成果について、論文投稿・公表(レフリー付学術誌)、学会発表を行う。また、ここ数年進めてきた「新しいアンカーの開発に関する研究」をさらに推進するため、A-STEPなどに申請して外部資金の獲得をめざす。				0.30	研究成果について、1編の論文を投稿し(レフリー付学術誌)、複数回の学会発表を行った。また、「新しいアンカーの開発に関する研究」の推進のためA-STEPに申請を行った(不採用)。				
社会貢献	0.10	行政・企業の技術相談に積極的に応じ、研究成果を生かした技術コンサルティングを行う。また、県内の土木技術者のための技術交流会を主催する。学術学会の役員、沖縄総合事務局、沖縄県、市町村等の委員を適切な範囲で務める。				0.10	行政・企業の技術相談に積極的に応じ、研究成果を生かした技術コンサルティングを行った。また、県内の土木技術者を集めた技術交流会を6回開催した。日本地すべり学会の理事及び九州支部事務局長、農業農村工学会のダム小委員会委員及び九州支部事務局、沖縄総合事務局及び沖縄県の技術検討WG等の委員を務めた。				
管理運営	0.20	各種委員会委員の役割を果たす。				0.20	全学、学部及び学科の複数の委員会の委員を務めた。				
進路指導	0.10	地域農業工学科の学生の「キャリア実習」の連絡・取りまとめ役を担当する。また、外部講師による講演会「仕事と人生」を分野主催で開く。				0.10	「キャリア実習」の連絡・取りまとめ役を担当した。また、外部講師による講演会「仕事と人生」を分野で開催した。				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		安元 純	所 属		地域農業工学科	職 名		助教
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	学科科目として、測量学実習(分担)、地域環境実験I(分担)、製図(分担)、卒業論文I, IIを担当し、シラバスに沿った展開を心がけ、JABEEの基準を満たす講義を行う。また、教職科目の、情報科学演習25組(分担)を担当する。			0.30	学科科目として、測量学実習(分担)、地域環境実験I(分担)、製図(分担)、防災工学総合演習(分担)を担当し、シラバスに沿った展開を心がけ、JABEEの基準を満たす講義を行った。また、教職科目の、情報科学演習25組(分担)を担当した。		
研究	0.40	農業農村工学会等の研究関連分野の学会講演会等(日本地下水学会春季・秋季大会、農業農村工学会全国大会、日本水環境学会シンポジウム及び土木学会水工学講演会)で研究報告を行うとともに、関連学会の学会誌等に研究論文を2報程度投稿する。また、学会の委員や研究会等を通じて、学外学会活動に貢献する。			0.40	農業農村工学会等の研究関連分野の学会講演会等(日本地下水学会春季・秋季大会、農業農村工学会全国大会、土木学会水工学講演会)で研究報告を行った。また、研究論文が3報(共著含む)受理された。また、平成26年度 中期計画達成プロジェクト経費(戦略的研究推進経費)(代表:新城竜一)に参画し、学部間共同研究に取り組んだ。		
社会貢献	0.10	オープンキャンパスにおいて、研究室を公開する。行政・企業の技術相談に積極的に応じ、研究成果を生かした技術コンサルティングを行うことで社会貢献に努める。			0.10	オープンキャンパスにおいて体験アグリを行い、訪れた高校生に身近な水質の問題や研究内容についての説明を行った。また、行政・企業の技術相談に積極的に応じ、研究成果を生かした技術コンサルティングを行った。また、糸満市の真壁小学校や米須小学校にて出前授業を行い、地域貢献に努めた。		
管理運営	0.10	学部及び学科の委員を務める。			0.10	図書運営委員会、機器分析支援センター運営委員などを務め、農学部の管理運営に参加した。		
進路指導	0.10	学生の進路指導を積極的に行い、就職支援活動活性化の一助とする。			0.10	学生の進路指導を積極的に行った。ま就職支援活動活性化の一助とした		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	